



事業名 青谷長尾鼻灯台利活用八良い（弥生）事業（灯台×学び×音楽）

コンソーシアム名：鳥取市青谷地区振興プロジェクト実行委員会

対象灯台：長尾鼻灯台（鳥取県鳥取市）

企画概要

事業名：青谷長尾鼻灯台利活用八良い（弥生）事業（灯台×学び×音楽）

鳥取市青谷町にある長尾鼻灯台では利活用事業を通じて、町内に1校のみの小学校、中学校、高校において、灯台の利活用につながる授業を行ってきた。過去を学び、今ある灯台を知り、未来へと受け継ぐ、というコンセプトのもとプロジェクトを「AOYA TODAY」と名付け、WEBサイト、教材などを制作し子供たちへの学びを通じて灯台を地域のシンボルへと育てている。今期は、小中高での灯台への学びが進む中、教材を中心とした学びをさらに発展させ、実際に灯台を見る、灯台に行く、灯台に触れる。という「体験」を作るため「長尾鼻灯台」の現地敷地も活用したイベント「AOYA TODAY FES」の実施を行う。



2022年度事業で制作

「青谷灯台物語」



青谷高校の授業と連携し、青谷町の歴史を学び、「弥生時代の遺跡」「北前船の寄港地」など海とつながった地域の学びを著名イラストレーターとともにマンガ化した。



2023年度事業で制作した学習教材

2022年青谷灯台物語を学びに活用する「青谷灯台物語」用の教材を小学校向けに。キャリア教育として海とつながる地域の仕事を知る教材を中学校向けに。実際に灯台を学ぶ資料を高校向けにそれぞれ制作。



2024年度 学校での授業を推進

事業採択はなかったが、すでに制作していた教材による授業を推進。小学校、中学校、高校とそれぞれの学びに応じて「灯台」が地域のシンボルであることを知った。



平成の大合併により端っこの町となった

鳥取市青谷町は、平成の大合併によって、「鳥取市の一番西端」という位置づけとなり、地域愛を失うきっかけに。高校から地元を出て、鳥取市中心部の高校へ進学する人も増えた



2023年度事業「小・中・高に展開」

高校で制作した「青谷灯台物語」をベースに、小学校、中学校、高校で授業教材を制作。
小学校では、マンガ「青谷灯台物語」を深く学ぶもの、中学校では、地域の海とつながる産業を知るもの、高校は、実際に灯台の役割を知るものとし、WEBサイトも制作した。



2022年度事業「青谷灯台物語」

青谷町には、「弥生時代の遺跡が豊富」「北前船の寄港地としての歴史」とそれにまつわる産業が残っている。それらを地元青谷高校とともにマンガ化、「何も無い」と感じていた地元の魅力に気づいていく主人公の想いを共有し地元愛醸成につなげた。



2024年度 授業を推進

昨年度制作した教材を使った授業を、小、中、高校で展開した。それぞれ地域の学びにつながるもので、灯台を地域のシンボルとする取り組みとなった。一方で、実際に灯台に行くには費用がかかり、なかなか実現しない。各担当教諭の変更により継続的な取り組みとしくい。など



目標

Plan / 計画時点

青谷町観光協会会長にあらたにバンドリーダーの榎田氏が就任。灯台に行く機会をつくるため「音楽フェス」を企画。
楽しんで、灯台に触れる機会をつくることで、原体験としての灯台の魅力を味わえる試み。



Do 実行 / 2025年2月時点の達成状況

11月1日長尾鼻灯台にてAOYA TODAY FESを開催。1500人が来場、310人が灯台公開イベントに参加。これまでの事業の学びを発信する場としてパネル展と灯台クイズステージを実施。
灯台の魅力に触れ、1日を堪能した

企画運営パートナー

1

青谷町観光協会

会長の榎田氏は41歳と若者を巻き込む力を持つ。



2

青谷町総合支所

町を行政側から巻き込む。

3

青谷地区公民館

市民活動としての巻き込み

4

境海上保安部

灯台の利用、当日の運営などで連携する

5

青谷小学校、中学校、高校

これまでの学びを活かして連携を図る



地元ライブハウスを運営し、音楽バンド「ロングトールサリー」のリーダーでもある榎田氏青谷観光協会会長となり連携して取り組む！

1

青谷町観光協会 ≫≫ 出店管理、ステージ運営

会長の柘田氏は、ご結婚を機に青谷に住み地域を盛り上げようと活動する1人。
灯台のフェスにおいて、柘田さんの行動力により、出店とりまとめ、音楽ステージが成功した

2

青谷町総合支所 ≫≫ 道路使用許可、会場使用調整、駐車場整理、テント

灯台エリアの敷地管理、灯台までの道路管理をしており、
利用許可、および鳥取市のLINEを活用した広報、当日の運営で駐車場警備などを実施

3

青谷地区公民館 ≫≫ 市民の支援

利用者に向けた発信、および企画運営の会議に参加して
市民側の応援サポートをしてもらえた。

4

境海上保安部 ≫≫ 灯台開放・展望エリア開放サポート、運営

灯台の一般公開において、展望エリアの開放、管理
運営を行った。

5

青谷小学校、中学校、高校 ≫≫ 学びの成果をパネル展示

これまでの学びの展示として、パネル展示で参加
緊急時の駐車場開放許諾などウラガワからサポート

青谷観光協会会
長に柘田氏
地域を盛り上げ
るキープレー
ヤーの獲得

長年地域で事業
を行ってきたた
め全面的にサ
ポートを得た



良かったこと



 計画していた①～⑤のパートナーが主体的に活動してくれたため、関係する人たち、出店者の仲間たちなど、多くの友人・関係者が来場してくれた。情報発信においても、お互いのSNSでシェアし合ったりと運営スタッフの熱意が拡散する形で情報が広がり来場につながった。

 来場者からは、「また開催してほしい。」
「灯台に行けるめったにない機会うれしい。」
「あの灯台にこんなに人が集まっているのは初めて見た。」など、感動の声が多数。
灯台と触れ合う機会が作れたことがよかった。



反省点・改善案



キャストイングが難航し、元ちとせさんに決まったのが1か月前ほど。そのため行き届かない部分があった。雨天対応がどこまでできていたか分からない。当日奇跡的に晴れたことが幸運だった。

事業活動として 何をするのか

～価値を提供する源泉となる活動～

01

青谷にある灯台「長尾鼻灯台」で
音楽と学びのフェス
「AOYA TODAY FES」運営

灯台に触れる体験を！ AOYA TODAY FESで灯台に足を運んでもらう

灯台無料開放！灯台にのぼろう！

海上保安庁の協力のもと、長尾鼻灯台を無料開放。展望エリアにのぼってもらう体験を提供。鳥取の東の端から西の端まで望める景色は圧巻



灯台の前で特別な体験を元ちとせさんライブ

普段は閉鎖されている灯台の敷地を開放し、ステージを設置！特別な場所で音楽フェスを開催。

目玉は「元ちとせさん」青空にそびえる白い灯台とワダツミの木など元ちとせさんの歌声がさらに灯台を引き立てた。



フェスを学びの場に！音楽×学び

これまでの事業を伝えるパネル展示
音楽ライブ内で灯台クイズを実施！
フェスをフックに学びの場に



灯台を特別な場所に引き立て、学び、音楽とともに灯台を知る

◇元ちとせさんのライブに集まった人たちに向け灯台クイズを実施。学びも提供

◇灯台観覧に並ぶ人たちの前で学びのパネル展示実施

灯台に実際に触れる機会を提供！灯台をイベントする可能性を提示し、 自走の新たなプレーヤー観光協会会長柘田さんと連携で未来へつないだ

1 灯台無料開放！灯台にのぼろう！

- ・合計310人 運営上可能な限り途切れることなくのぼらせていた多くの人に灯台からの景色と、灯台に触れる機会が提供できてよかった
- ・灯台からの景色は、岬が突き出ているため絶景。当日は天候に恵まれ、多くの人に、灯台が素敵な場所にあり、海を支えてきたことを伝えることができた。

2 灯台の前で特別な体験を元ちとせさんライブ

灯台の前の会場は、普段は閉鎖されていて人が立ち寄ることは無いが、釣り組合による清掃などで整備し、ステージを設営、環境を整備し無事に多くの人にライブを楽しんでもらうことができた

3 事業を伝えるパネル展示

2022年度より実施してきた長尾鼻灯台の利活用事業のこれまでの学びの成果を報告するパネル展示を実施。学校内にとどまっていた学びを来場者に広く発信することができた。

4 灯台クイズ

音楽ステージのメインステージ直前に灯台クイズを実施！多くの人に、灯台の価値や、灯台の意義を伝えることができた。

5 その他

FESグッズも作成、灯台エリアへはシャトルバス限定とし、安全全面を考慮した。



👍 良かったこと

👍 来場1500人！ (想定は500~1000人)
地元の人もびっくり。史上初の灯台での音楽ライブに
地元の人も喜びの声。
灯台にあんなに人がいるのは見たことが無い。と感動の声

👍 灯台観覧310名 灯台の価値を伝える好機に

👍 事業のパネル展示で学びを伝える機会に！

👍 灯台クイズを交えて、灯台の学びをフェスをフックに展開



反省点・改善案



今後のためにアンケートを実施すればよかった
灯台は天候との勝負。今後は、大型イベントではなく小さなイベントで実績を積み上げたい

02

自治体へのロビー活動

自治体へのロビー活動

長尾鼻灯台が地域の価値を高めることを理解いただき、
運営支援、広報支援、資金支援など多くの支援を獲得



様々なサポートを得て、円滑な運営、運営費削減につながった

1 鳥取市青谷町総合支所が 実行委員会の一員として イベント運営に参加

鳥取市青谷町総合支所が運営に参加することで円滑な進行につながった。

- ①広報 登録者約5.2万人の鳥取市の公式LINEによる発信で広く周知広報
- ②準備 道路使用許可、敷地使用許可の申請まわりをサポートしてくれたため円滑に許認可を得ることができた

2 鳥取市青谷町総合支所が 実行委員会の一員として イベント運営に参加

- ③運営 当日の運営として駐車場整理を行ってくれた。また、テントの貸し出しもしてもらったため経費の削減につながった
タレント控室として、役場の会議室を無償提供してもらった

3 鳥取県かみじち史跡公園 の協力

資金面は、日本海テレビ協賛で賄ったが、一部広報サポートとして弥生時代の遺跡を展示するかみじち史跡公園のイベントかみじちフェスタが前週にあったためAOYA TODAY FESと同時広報することで一部資金のサポートを得た

良かったこと



 役場、県、学校など、多くの賛同を得ることが出来て運営を円滑に進めることが出来た。
これまでの取り組みが地域で評価してもらえた結果と感じた

 様々な方に理解いただき協力を得た



反省点・改善案



鳥取市の政策としての取り組み、青谷町総合支所としての取り組み、地域のイベントでの活用につなげていきたい。

顧客ターゲットと 提供するベネフィット

メインターゲット

1 青谷町の住民約6000人をターゲット

これまで灯台のある町青谷町を舞台に事業を行ってきた。
今後地域に自走の種をまく意味でも青谷町民への訴求を行いたい

サブターゲット

2 青谷町外・特に近隣の町

青谷町近隣の町、少し足を延ばせば来ることが出来、文化や歴史も
ともにする方々は学びも含めて来場に期待

3 イベントに関心のある近隣県含む観光客

「灯台」は特別な場所。地元だけでなく、イベントに関心のある層も含めて
展開して、有意義な場所としていく

4 鳥取市全域

平成の大合併で、青谷町は鳥取市となった。同じ市内にこんな場所がある
ということを伝えていき、今後の関心層を掘り下げたい



ターゲットは計画と合致。「灯台」関心層も一部来場

1 ターゲット層はほぼ獲得

<メインターゲット> 青谷町住民
<サブターゲット> 近隣の町、鳥取市、イベント関心層

会場のキャパシティに限りがある中で、想定した層への訴求ができた。
特に、SNSを活用した展開で来場したことが分かった。
イベントはSNSを活用して集客する知見も得た

2 ターゲットごとに媒体を設定

ターゲットごとに媒体を変えて発信することで多くの来場を獲得

- ・ 青谷町民や近隣町の住民に対しては折込ですべての世帯にチラシ配布
- ・ 鳥取市民には公式LINEで発信
- ・ 観光客も含めた広い層にはWEBマガジンの記事とSNSで展開
- ・ SNSを使って、運営関係者から広く拡散して期待通り訴求した

3 計画していないターゲットの可能性

灯台への関心層

全国の灯台をめぐる灯台ファン
近隣エリアでも「灯台」だから行きたいという層もいた
灯台ファンに向けた発信という視点もあってよかった

良かったこと



 参加した方の満足度が高く、灯台展望への関心も高かった。想像以上に参加者も多く喜ばれるイベントとなった。

 危険を回避するためにシャトルバスでのみの来場に制限したがそれによって滞在時間も長くなり、音楽、学び、灯台とすべてを楽しむことが出来た



反省点・改善案①

シャトルバスでのみのアクセスにしたが、歩いて参加などアクセスの改善はできた可能性あり

反省点・改善案②

アンケートを実施することで、来場者属性を図る、満足度を図ることができればよかった

反省点・改善案③

早めのキャスティングができれば有料化の検討も可能で、収益性の高いイベントが企画できた可能性がある。

チャネル

～顧客に事業の価値を届ける
経路、確認する経路～



認知

チラシを制作し、WEBサイトで記事
を発信
SNSでも発信し認知獲得を行った

興味関心

近隣住民には、折込で全世帯へ
鳥取市民には、鳥取市公式LINEの活用
で訴求
鳥取県内全域にSNS広告で関心を拡散

行動

当日来場関係者のSNSでの相互拡散
により、広く情報が広がり、
当日の来場につなげることができた。
目標以上の来場を図ることができた

番組での事後フォロー

地元テレビ局での取材も入り
音楽バラエティ番組で取り上げたこ
とで、会場の様子や灯台についてさ
らに拡散できた

会場での学び

元ちとせさんのステージの前に
灯台クイズを実施して、会場で学び
過去の学び事業の様子をパネル展示を
通じて紹介



ほぼ計画通り 予想以上の結果に

1 広報発信

ターゲットを選定して、使用する媒体を検討したことで、多くの来場につなげることができた



👍 良かったこと

- 👍 ターゲットを選定し媒体を分けたことで、期待通り幅広い層にご来場いただけた。
- 👍 会場で100名に口頭アンケート実施
SNSやWEBでの来場が多く、訴求できたと感じた



反省点・改善案



満足度などのアンケートを取って次回につなげる施策を行えば良かった

顧客との長期的な
関係構築のために
実行できる施策

イベント視点での発信

これまで学び視点での発信をすることで、学術的な価値の発信はできていた。イベント視点で発信して、新たなファンおよび、学びから発展した認識につなげ、長期顧客獲得する。

ストーリーの発信

WEBサイトをすでに制作しているためさまざまなストーリーを知ってもらうことができる。ストーリーとともに場所を知ることによって長期ファンにつながるようにする。

これない人も

番組で当日の様子を取材して放送予定。YouTubeにも公開する。来れなかった人への訴求につなげる。



1 年間企画化

イベント視点での灯台

これまで学び視点での発信をすることで、学術的な価値の発信はできていた。イベント視点で発信することで、新たなファンおよび、学びから発展した認識につなげ、長期顧客獲得した

2 ストーリーの発信

WEBサイトでの発信

WEBサイトをすでに制作しているため
さまざまなストーリーを知ってもらうことができる。ストーリーとともに場所を知ることで長期ファンにつながる

3 これない人も

番組で発信

番組で当日の様子を取材して放送。
YouTubeにも公開したため来れなかった人への訴求につなげた

👍 良かったこと



- 👍 学び視点だとどうしても学校クローズになってしまう。イベント視点での発信を行うことで、SNS等拡散により幅広くファンを獲得できた
- 👍 番組で紹介することで現場来場できない人にも発信訴求することで長期顧客獲得につなげた

学びを広く発信できた！
地域の新たなプレイヤー梶田さんをつながり
自走の芽を未来へつなげた！



反省点・改善案



市役所等の予算措置など公共事業としての連携なども余地があるか？
提案しても良いと感じた

事業に必要なリソース ～人、物、情報、許認可～

01

人、物、情報

人

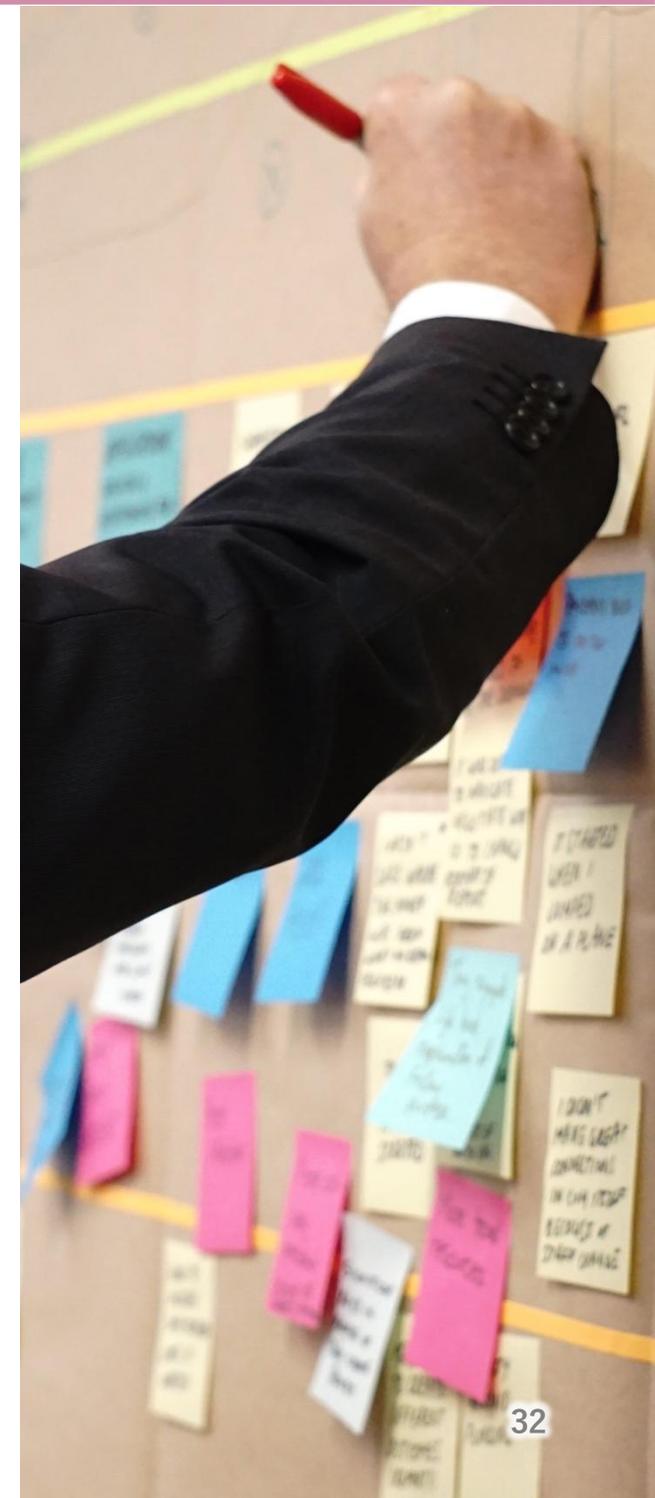
事業プロデューサー
イベント運営
広報スタッフ
協力者、団体

物

テント、椅子、発電機
ポスターチラシ、SNS
グッズ、動画 PRツール

情報

2022年度以降に作成した学習教材



1 人

計画よりも充実したリソースを確保

- ・ 事業プロデューサー 1名
- ・ 事業進行アシスタントスタッフ10名
- ・ 広報スタッフ1名
- ・ 協力者・企業・団体：青谷町総合支所、青谷公民館、青谷高校、海上保安庁
- ・ 制作会社ソケット、三共レンタル、クニビキノハシラ
- ・ 飲食事業者、地元バンド

一部協賛：かみじち史跡公園 など
小口スポンサー

2 物

計画通り、イベント開催に必要な備品PRツールをそろえた

テント、椅子、発電機、ポスターチラシ、SNS
グッズ、動画、PRツール

3 情報

計画通り広報ツールを制作。学びのパネル展示も実施

灯台の詳細、2022～2024年に制作した学習教材などをまとめたパネルを展示
パネル①：弥生の記憶と灯 青谷町・長尾鼻灯台
パネル②：青谷灯台物語 灯をみらいへつなぐまちのプロジェクト
パネル③：次の世代へ伝える“灯” 青谷の生涯学習プロジェクト

👍 良かったこと



👍 地元が一体となって協力してくれたため円滑に進行した



反省点・改善案



結果的に天候は良かったが、雨天時対策をきちんとしておきたい。

02

許認可

許認可

鳥取市

市有地使用許可

道

市道専用許可

海上保安庁

国有地および灯台使用許可

保健所

飲食提供許可

1 許認可

関係機関への申請・説明を滞りなく行った

< 申請 >

鳥取市…市有地使用許可申請 / 市道占有許可申請
境海上保安部…国有地占有使用および灯台使用許可
保健所…飲食店営業

イベント保険…実施内容を説明し、適切なイベント保険に加入した

磯釣り組合…普段は釣り客でにぎわうエリアで、県外からの釣り人の可能性があった。そのため早くから釣り組合へアナウンスし、パネルを設置して、当日使用不可の掲示および、当日深夜に釣りに来て駐車する釣り客を入れないために釣り組合による警備もお願いした。



メディア露出



11月22日 日本海テレビ「オンガクお嬢」



オフィスオーガスタX 11月1日



山陰海岸ジオパークfacebook

のべ11媒体



11月15日 日本海テレビ「オンガクお嬢」



日本海テレビ One 11月11日

■WEBマガジン n a - n a ほか

https://na-na.media/aoya-today-fes_2025/



■日本海テレビ
SEA TOTTORI 2025 11月29日放送

今後について

A. 事業について

課題

次回につなげるには来場アンケートなど必要あり。

これまで、学びという視点で灯台の情報を地域に発信してきたがイベント視点で発信し、会場に人を集めリアルな体験としての灯台を提供した。多くの来場が見込めたため、今後に向けてアンケートを実施する必要がある。



施策

- ◎青谷町観光協会の会長榊田さんを実行委員会として巻き込むことでイベントを成功させることができた。
今後榊田さんの企画するイベントとの連携を図る
- 灯台開放のイベントを定期的で開催することで、さまざまな規模のイベントの可能性を探るなど

B. 実施体制について～熱量をもった主体となる団体や個人を巻き込むこと～

課題

地域は多く賛同してくれた。
アクセスの問題など課題

熱量ある地域住民のおかげで成功裏に終わることが出来た。
今後継続していくには、中心となる人物が必要だが、灯台×音楽という視点では、アクセスの問題、天候の問題が課題
小さな規模でも今後イベントの可能性を模索する必要がある



施策

- ◎青谷町観光協会榊田さんの熱量にひっぱられて、イベントが進んでいった
今後、彼に共鳴する人を増やしていきたい。
- 運営する観光施設ようこそ館やさまざまな地域のイベントを灯台と関連づけられないか？提案していく

C. 収支について～運営費と収益を将来にわたって均衡させること～

課題

イベント事業は、集客するための目玉が必要

目玉となる元ちとせさんが参加したことで集客など円滑に進んだが、今後は小さなイベントでも実績を積み上げていきたい。



施策

- ◎行政による支援獲得に向けた働きかけを継続する
- 地元イベントの灯台での実施を提案する
- 今期作ったグッズ販売を収益とする

【今後の計画】 新たなプレーヤー梶田さんで実績を作っていくさらなる発展を

地域で観光施設・イベントなどをてがける梶田さんを中心に今後の利活用について検討を進める。

💡 イベントの定期開催検討



💡 恒例となっている地域のイベントの開催場所を灯台で実施するなど



💡 学校行事などへの働きかけ

事業名：青谷長尾鼻灯台利活用八良い（弥生）事業

助成金終了後、本事業は新たな灯台利活用モデル事業が定義する「自走化4分類」のうち、以下を目指します

本事業が 目指す型	分類	自走化の方法	中心となる事業者
	I ビジネス型	灯台および付属施設等をホテルなどに利活用する、 または 灯台および周辺地域の魅力をコンテンツとして利活用することで、 <u>ビジネスとしての収益化を達成し、自走する。</u>	民間事業者
	II 非営利 収支均衡型	灯台及び周辺施設等を活用し、 イベント開催や観光ガイド等を組織しながら、主として、 <u>収支均衡となるような小規模の地域活性化事業を行い、 非営利団体として、自走する。</u>	非営利任意団体、 NPO等
✓	III 自治体 補助金型	自治体が主体となり、 新たに地域課題や観光資源の一つとして 灯台及び周辺施設等を位置づけることにより、 <u>自治体の予算やリソースが投入され、自走する。</u>	自治体
✓	IV お祭り協賛型	灯台に係るイベントを開催することで、 灯台を含むエリアの新たな価値と集客・PR効果を創造し、 <u>地元自治体や地域企業からの協賛金や、出店料、 参加者から入場料などの イベント収益によって、自走する。</u>	イベント事業者、 放送局

資料

▶これまでの事業をまとめ学びを伝えるパネル展示を実施



長尾鼻灯台をテーマに
学びのはじまり

青谷の誇り、未来への灯り。
弥生の記憶と海の灯
—青谷町・長尾鼻灯台—

鳥取市の西端、青谷町の断崖の岬に立つ長尾鼻灯台。昭和23年(1953年)の初点灯以来、青谷の海を行き交う船を静かに照らし続けてきました。白く小さなこの灯台は、荒波に負けず海の安全を守り続ける「青谷のシンボル」です。灯台が見守る青谷町は、古代からの営みが息づくまち。弥生時代の人々の暮らしを今に伝える青谷上寺地遺跡では、全国的にも貴重な人骨や木製品が発掘され、その魅力を体感できる「青谷かみじち史跡公園」が2024年3月にオープンしました。また、江戸時代には北前船の寄港地として栄え、その歴史が2018年に日本遺産「北前船寄港地・船主集落」の一つとして登録されています。古代から近代へ——海とともに発展してきた青谷の歴史と今を静かに見つめているのが長尾鼻灯台です。

青谷灯台物語が完成！
—灯を未来へつなぐまちのプロジェクト—

2022 町の資源「長尾鼻灯台」を主題にしたプロジェクトがスタート

灯台を通じて地域の歴史や文化を学ぶ青谷高校との授業から誰でも親しみやすい「マンガ」を製作。著名なイラストレーター「伊吹春香」さんとコラボし、大きな反響を得ました。

2023 地域に継承されるが学習スタート

青谷灯台学の制作「AOYA TODAY」

2023年は青谷小学校・青谷中学校にもその学びを波及、展開させて「海と灯台のまち」として灯台を軸にした学習プログラムを企画し授業教材づくりを実施。さらに、訪れる人が灯台や史跡を巡りながら青谷の魅力を伝えるコンテンツの制作。地元の人と観光客が同じシートで「青谷の海」を体験できるよになりました。そして、青谷灯台物語WEBサイト「AOYA TODAY」を完成。地域の歴史・文化・自然の魅力をまとめた、青谷「海と灯台の本物」であることも広く知っています。灯台を中心に、学び、交流し、体験する。青谷灯台物語は、地域と未来をつなぐのです。

次世代へ紡ぐ「青谷灯台学」
—青谷の生涯学習プロジェクト—

2024 次世代へ学びの展開

「青谷灯台物語」は、灯台を通して海と地域のつながりを学ぶ生涯学習プロジェクトへと広がりました。2024年度には、青谷小学校・青谷中学校・青谷高校とも連携し、それぞれの年代に合わせた学びを展開しています。

●青谷小学校：青谷灯台物語 読書会
灯台を題材に、青谷が古くから海とともに生きてきた歴史を学びました。本を通して、地元の海や人の暮らしを知るきっかけに。

●青谷中学校：灯台 × キャリア教育
地域で働く大人たちの仕事や、どのように海とつながっているかを学び、「灯台は海を支える象徴」であることを理解しました。

●青谷高校：鳥取の灯台・全国の灯台を学ぶ
鳥取県内外の灯台を訪ね、灯台が果たす役割や地域との関係を探求。灯台の魅力を発信する若い世代が育っています。

2025 「灯台」×「学び」×「音楽」
学びが灯り、音が広がる。——青谷の新しい章。
灯台をきっかけに、地域の歴史と文化。そして未来をつなぐプロジェクト。青谷町から、新しい風が吹きはじめます

青谷町校の
生法が制作した物語

▶ FESグッズ販売



現場の危険を知らせる コーンを灯台型で



AOYA TODAY! FESTIVAL

2025
11.01 [入場無料]
1日限りの限定公開 / 会場：長尾鼻灯台 [鳥取市青谷町青谷]

at NAGAOBANA TODAY

開場 10:00-15:00 [入場無料]
※小雨決行・荒天中止

1日限りの限定公開 / 会場：長尾鼻灯台 [鳥取市青谷町青谷]

灯台コラボメニューも盛り合わせ!

【出店】
アジサイ / Bante / からべ伝承館 / 青谷ようこそ館 / 牧家キッチンカーつばな / Cafe Berry / ひかり農園 / 夏泊あまの会 / つばなベーカリー / いなばコーラ / 麺屋筑 / 林業 / Tortuga / IGNIS COFFEE ROASTER / KYCケンダマ部

SPECIAL GUEST LIVE
元ちとせ

GUEST
オングクお嬢

LOCAL LIVE : Long Tall Sally / ウナジオ・サオンドス / カマトニバンド

最新情報は こちらをチェック!
長尾鼻灯台「1日限定」オープンデー開催!!
県海上保安部による長尾鼻灯台の一般公開が行われます!

海と灯台プロジェクトで行ってきた青谷の学びPRコーナー

日本 海と灯台 プロジェクト

AOYA TODAY! FESTIVAL

2025
11.01 [入場無料]
会場：長尾鼻灯台 1日限りの限定公開 /

当日は青谷農村広場に駐車していただき、会場へはシャトルバスをご利用ください。JR青谷駅からは、駅出てすぐの株自転車より電動レンタルサイクルがご利用できます。

開場 / 10:00-15:00 [入場無料] ※小雨決行・荒天中止

会場周辺は危険な場所もございますので、小さいお子様のみでの参加はご遠慮ください。

長尾鼻灯台は海とつながってきた青谷町のシンボル。弥生時代の漁労や海上交易に関する遺物が多数出土し、江戸時代には北前船の寄港地として栄えた鳥取市青谷地区にある長尾鼻岬。古代から日本各地はもちろん、大陸からも人やモノが集まり、文化が育まれた場所です。昭和2年に前身の「夏泊灯柱」が設置され、昭和28年、長尾鼻灯台が初点灯。日本海を行きかう船の安全航行を見守り、この地が海上交通の要衝であることを示す象徴として、若者や市民に、地域を学び、誇りをもつ格好の機会を提供します。

TIME TABLE

- 10:00 OPEN DJ ゆらぐ
- 10:30 DJ TA2Soul
- 11:00 ウナジオサオンドス
- 11:30 DJ ゆらぐ
- 12:00 カマトニバンド
- 12:30 DJ TA2Soul
- 13:00 元ちとせ(Special Guest)
- 13:30 お楽しみ!灯台クイズ!
- 14:00 Long Tall Sally
- 14:30 DJ TA2Soul
- 15:00 CLOSE

at NAGAOBANA TODAY

青谷高校生とイラストレーターで作上げた漫画青谷灯台物語を読んでから参加しよう!

最新情報は こちらをチェック!
<https://www.aoyatoday.com>

日本 海と灯台 プロジェクト

青谷町農村広場
鳥取県青谷町青谷1351

青谷小学校
青谷高校
あまのこども館
JR青谷駅
青谷のみちろ史跡公園
山陽自動車道